

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年11月28日更新

事務事業名	下水道事業経営事務(消費税及び地方消費税)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名 辻 健一
	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名 後藤 真千子
	施策の柱	30	水質の浄化		所属班	庶務料金班	(内線) 1164
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、消費税法 合志市水道局会計規程
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 27 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
							成果優先度評価結果 ; コスト削減優先度評価結果 ;

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成27年度から地方公営企業法を適用し企業会計制度に基づく経理を開始している。発生主義に基づき、税込処理を採用している。消費税及び地方消費税では最終的には消費者が負担するものであるという原則から、売上にかかる税額から仕入れにかかる税額を算定し、納付する。
【業務の流れ】	年度末の決算処理に伴い納付額を確定させる。9月、12月、3月の税務署へ中間申告納付を経て6月確定申告納付となる。
【主な予算費目】	消費税及び地方消費税
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	年度末決算処理に伴い算定し、消費税及び地方消費税の額を確定する。額の確定には課税売上割合・控除対象仕入税額の計算等の処理を行うが、通常の各種取引から注意が必要になる。6月額を確定し、税務署に確定申告納付する。9月12月3月は中間申告納付をする。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 本年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア イ	予算の主な増減の理由 法適用化で打ち切り決算に伴う未払金等の発生により、納税額が増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 消費税及び地方消費税算定に必要な事務。	(単位) ア イ	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 算定に集計する区域区分項目(公共・流域・特環・農集) 項目
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 効率的かつ正確に執行できる。	(単位) ア イ	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 適正に執行された予算の割合 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 企業会計システムを活用、効率的かつ正確に事務を執行することを目的とし、適正に執行された予算の割合をみることで判断できると考えた。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア イ									
② 対象指標	ア イ	項目			100	100	0	0	0	0
③ 成果指標	ア イ	%			0	0	0	0	0	0
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円			30,097	16,201			
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円			30,097	16,201	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	
人 件 費		正規職員従事人数	人		2	1	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間		200	200	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円		796	742	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円		30,893	16,943	0	0	0	0

事務事業名	下水道事業経営事務（消費税及び地方消費税）	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <small>（具体的な手段、事務事業）</small> <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						